

## 中学生の「税」についての作文

市では、納税意識の高揚を目的に、次代を担う中学生を対象に「税についての作文」を募集しました。この中から最優秀賞である小松島市長賞を受賞された立江中学校3年生の井上美由記さんの作文を紹介します。

### 「学校と税金」

立江中学校 3年

井上 美由記



中学生の私には教育を受ける権利がある。毎日楽しいスクールライフを送っていることを今まであたりまえのように思っていた。しかし、机などの備品をそろえるための費用や先生のお給料など、私たちが学校で学ぶためにかかっているお金はどのようなにしているのか疑問に思った。毎月集金袋を渡されるがその金額では足りないと思ったからだ。

「おはよう。」  
眠い目をこすりながら、友達とあいさつをかわす午前七時十五分、グラウンドにて私の一日はここから始まる。早朝から陸上練習をして、それから授業を受ける。おいしい給食を食べて、午後の授業を乗り越える。家に帰ると宿題が待っていて、それをやり遂げてから眠りにつく。そしてまた、朝がやってくる。

そこで、私はインターネットを使って調べることにした。すると、それは税金によって賄われていることが分かった。このような学校教育や科学技術の発展のために役立てられているお金を文教及び科学振興費という。国の一般会計歳出総額は九〇兆三千三百三十九億円であり、文教及び科学振興費はそのうちの六パーセントを占める。金額でいうと五兆四千五十七億円になる。その内訳を見ると、

公立小・中学校の教員のお給料などの三分の一を負担している義務教育国庫負担金に一兆五千五百七十五億円、教科書の配布や国立大学法人・私立学校の援助のための教育振興助成費に二兆三千五百五十八億円が使われていた。そのほかにも公立の小・中・高等学校の校舎改築などのため支出や、育英事業費などもあり、こうした予算によって、学校の教育が運営されていることがわかった。

私はこの立江中学校が大好きだ。最高の仲間と、最高の先生に囲まれ、中学校最後にふさわしい毎日を送っている。しかし、こうやって私が楽しく学校に通えるのも税金のおかげである。そう思うと税金を納めるのは嫌だなあと思っていた自分が恥ずかしくなった。私たちは税金を国に納めていると思いがちだが、本当は自分たちに納めているのだ。学校に限らず、交番や病院ごみ処理施設などさまざまなところで税金が使われている。どれも私たちの生活に必要不可欠なものばかりだ。税金を納めることは決して無駄なことではないのである。

私が今納めているのは消費税

だけだが、大人になるといろんな種類の税金を納めなければならない。しかし、これは私たちの暮らしを支え、よりよいものにするためである。税は決して他人事ではない。国民一人一人が税についての理解を深め、きちんと納税することが大切である。

卒業まであと、六か月。学校で学べることは決してあたりまえではなく税金があるからだということをお忘れず、過ごしていきたい。

※この作文は、本人の意見を尊重するため原文のまま掲載しています。

平成24年度の「税についての作文」優秀作品の表彰を受けた方は次のとおりです。(敬称略)

#### ▼小松島市長賞

立江中学校3年 井上美由記

#### ▼審査員特別賞

小松島中学校2年 桑内 ひな  
坂野中学校3年 野川 千紘  
坂野中学校3年 孫田 美音  
立江中学校2年 定國 葉奈  
立江中学校3年 池淵 澄玲  
立江中学校3年 奥田 雄大

## 白色申告 記帳説明会



平成26年から個人で事業や不動産貸付などを行う全ての方は、記帳と帳簿などの保存が必要になります。

市税務課では、青色申告を行っておらず（白色申告）、農業所得、営業所得または不動産所得を生ずべき業務を行う方を対象に、記帳の仕方や帳簿書類の保存制度などについての説明会を開催します。

【開催日時】12月11日(火)

・農業所得は、午前10時30分

～午前11時30分

・営業等所得は、午後1時

30分～午後2時30分

・不動産所得は、午後3時

～午後4時

#### 【開催場所】

小松島みなと交流センター  
1階  
タココ10102階

市税務課市民税担当

TEL 32・3821  
FAX 33・3401